平成２７年１１月１６日　学校通信　「全国学力・学習状況調査」特集号

さらくら

北九州市立皿倉小学校　校長　千々和　俊昭
八幡東区尾倉１丁目１５－１（℡　６７１－１９４７）

学校教育目標
わくわく いきいき
笑顔輝く 皿倉小
思いやりの心をもち、
自ら学び、たくましく生きる
「皿倉っ子」の育成

平成 27 年度「全国学力・学習状況調査」における本校の結果と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成２７年４月２１日（火）に、６年生を対象として「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施しました。その調査結果と今後の取組についてまとめましたのでお知らせします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

※　なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目ざしています。

１．調査内容

⑴　教科に関する調査（国語、算数、理科）

◇　主として「知識」に関する問題・・・国語Ａ、算数Ａ、理科の一部

・　身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題

◇　主として「活用」に関する問題・・・国語Ｂ、算数Ｂ、理科の一部

・　知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を中心とした出題

⑵　児童質問紙調査

◇　学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

２．本校の調査結果の概要

⑴　学力調査結果

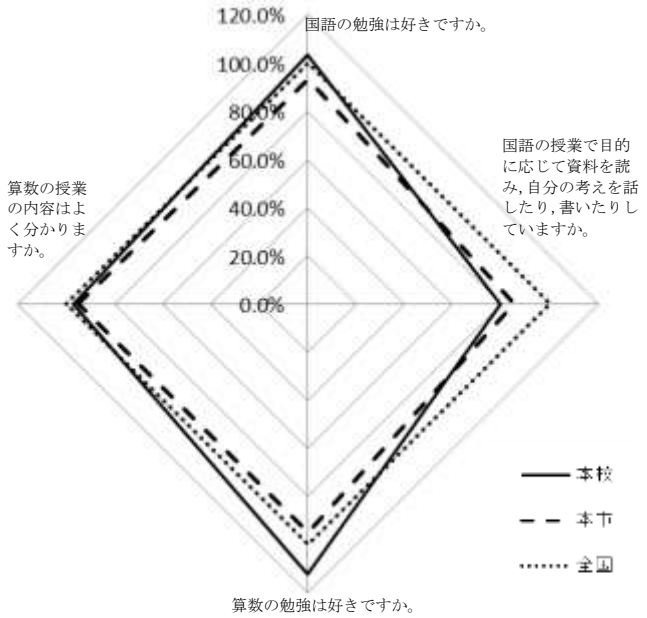
国語 A	全国平均正答率を下回っている。
国語 B	全国平均正答率を下回っている。
算数 A	全国平均正答率を下回っている。
算数 B	全国平均正答率を上回っている。
理科	全国平均正答率を下回っている。

⑵　学校での学習状況に関する調査結果の分析

○　『国語の勉強は好きですか』で、「好き」と答えている児童が今年度も全国平均を上回った。

しかし、『国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか』の問いでは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えている児童が全国平均を大きく下回った。

→　以上のことから、「読む」・「書く」の基礎・基本の定着を図るための授業内容の工夫改善や考えを出し合う場面の設定、反復練習や家庭



での復習等にも力を入れなければならないと考えています。

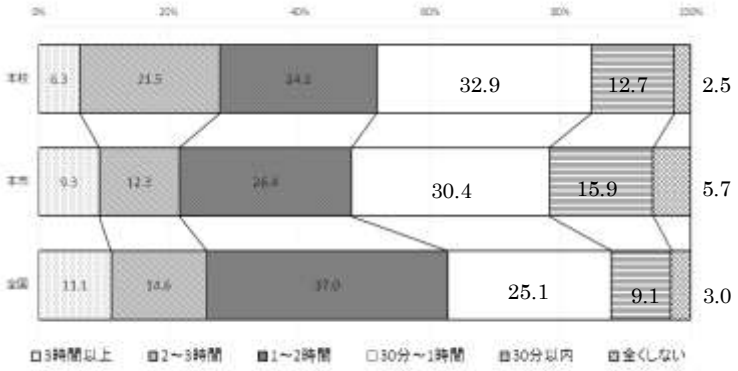
○　算数が好きかどうかを尋ねる問いでは、国語以上のよい傾向が見られた。また、『算数の授業の内容はよく分かりますか』の問いに対して、「当てはまらない」と答えている児童の割合が全国平均よりも非常に低かった。

→　このような状況が、今回の算数の正答率アップにつながったととらえています。今後も学習意欲を大事にし、算数の学習では少人数指導を取り入れながら、学習したことの内容理解や学習したことを活用するよさを伝えることに力を入れていきたいと思います。

⑶　家庭学習習慣に関する調査結果の分析

・　２時間以上家庭学習をしている児童の割合は増加し、全国平均を上回ったが、その反面、家庭学習が１時間より少ない児童の割合も全国平均より多く、差が大きくなってきているという課題が見られた。

→　宿題は、学級の実態に応じて毎日出すことを基本としていますが、家庭学習の時間のめやすである学年×１０分の内容について、学年内で話し合って内容の確認をしています。



・　高学年では、自主学習ノートを使っての学習を呼びかけており、かなり定着してきた。

→　中学年以下の学年においても、宿題以外の家庭学習（読書や自主学習等）の内容についての検討が必要です。家庭用に配布している「家庭学習チャレンジハンドブック」も活用されてください。

⑷　生活習慣等に関する調査結果の分析

・　『自分には、よいところがあると思いますか』に対して、自尊感情が低い傾向にある。

→　反面、成功体験には素直にうれしいと感じることができていますので、成功体験を重ねていくことで自尊感情の向上につなげていくことを大事にしたいと思います。

・　友達の前で発表することが好きな反面、うまく伝えることができないでいる傾向にある。

→　言語活動の充実を図るとともに語彙を増やし、伝えるための言葉を豊富にすることにより、コミュニケーション能力を高めていく必要があます。本校では、これらの課題解決に向けて「対人スキルアップ学習」に取り組んでいます。

３．調査結果を受けての今後の取組（すでに実施している内容を含む）

○　国語科を学校の研究テーマとして各学年が授業を公開しながら研修を重ね、今後も指導法の工夫改善に努めていきます。また、外部からも講師を招聘し、指導を受けます。

○　朝学習の充実を図っています。現在週３回、火・金曜日の国語に関する学習の時間と水曜日の算数に関する学習の時間を全校一斉に実施。国語辞典や漢字辞典を効果的に使うために、朝学習の金曜日を「語句調べ」や「視写」の時間として設定しています。また、月・木曜日は、「朝読書」の時間としてしっかり定着しています。

○　少人数指導や専科指導、小中連携サポーターの補助等を活用して、十分な打ち合わせによるよりきめ細かな指導にあたります。

○　学級や全校で「ひまわり」の一斉音読に取り組み、人前で声を出すことに慣れさせ、みんなで声をそろえる楽しさを味わうことで発表することに対する苦手意識をなくしていきます。

○　宿題の内容や量については学年内で話し合い、検討を加えます。

○　「自尊感情の高い子ども」「自分の気持ちに気付く子ども」「自分の気持ちを適切に表現できる子ども」「学級の仲間と協力できる子ども」このような子どもの姿を目ざして、スクールカウンセラーの先生の助言と協力も得ながら計画的に『対人スキルアップ学習』に取り組んでいきます。

○　若年教員の割合が高いので、先輩教師の授業に学ぶ場を設定しています。